

反対事例の解説

(一般勘定・特別勘定)

【取締役選任】

- ✓ 収益拡大に向けた取組みを行っているとのことでしたが、低ROEが継続していました。中長期の目標は掲げていましたが、対話を通じて、収益改善の時期や水準が明確でなかったことから、反対しました。
- ✓ 低ROEが継続するも、中期経営計画は社内向けのみで対外的な開示はなく、またその中にROE目標もないとのことでした。対話を行いました、具体的な収益改善策は開示しないことから、反対しました。
- ✓ 増益基調にあり、自己資本比率、現預金水準も高いなか、剰余金の配当を実施していないことから、対話を行いました。配当を実施しないのは、将来の投資のために内部留保しているとのことでしたが、その具体的な活用について、不明確であったため、反対しました。
- ✓ 低配当性向が継続していたため、対話を行いました。引続き、株主還元は企業規模拡大による株価伸長で応えていく方針とのことであり、配当性向を意識した経営に取り組んでいないことから、反対しました。

以上